

## ごあいさつ

# 世界に一つしかない「<sup>そうごう</sup>相合精密部品メーカー」 として成長を加速

## グローバルニッチトップ製品の「相合」で社会的課題解決に貢献

株主のみなさまには日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2023年3月期は、売上高、営業利益、当期利益のすべてで過去最高を達成、売上高については、10期連続で過去最高を更新することができました。営業利益についても、自動車市場回復の遅れ、データストレージ関連の減速などの想定外の状況があったものの、M&Aや旧東京本部売却益などの一時的な収益もあり、目標として掲げてきた1,000億円を達成することができました。

2009年4月の社長就任時に、私のミッションとして①株式価値の最大化 ②100周年のための基礎固めを掲げ、「経営の本質はサステナビリティ」であるという信念のもと、成長にこだわり、その象徴として2029年3月期の売上高2.5兆円、営業利益2,500億円という高い目標を掲げてきました。14年前2,300億円だった売上高は、2023年3月期は約1兆3,000億円まで成長し、中期事業計画ではオーガニック成長だけで約1兆8,000億円の売上を見込んでいます。ここまでの成長ペースに、M&Aが加われば、2.5兆円の達成は決して不可能なものではないと考えています。

また、継続的な成長と持続可能性を追求し、利益の最大化とリスクマネジメントに努めてきました。事業を拡大していくなかで、シナジーのある「選択と集中」を心掛け、事業、人材、生産活動などあらゆる面で多角的なリスク分散体制の強化を進めてきました。これらの事業ポートフォリオが、逆境に強く、成長の余地を持つ盤石な経営体制の基盤につながっています。

2023年3月期はコネクタ、アクセスソリューション、半導体など4件のM&Aを実施し、構造改革などの布石を打つとともに、コア事業「8本槍」による大きな飛躍に向けた発射台の構築は完了したと考えています。

短期的にはデータセンター市場、マクロ経済の不透明さや市況の変動による影響があることは避けられませんが、これまで



代表取締役会長 CEO

貝 沼 由 久

築き上げてきたコア事業8本槍がカバーし合い、現在掲げている中長期的な成長目標は必ず達成できると確信しています。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

※相合：「総合」ではなく、「相い合わせる」ことを意味し、自社保有技術を融合、活用してコア事業「8本槍」を進化させるとともに、その進化した製品をさらに相合することでさまざまな分野で新たな製品を創出すること。

## 株主のみなさまへ

### 第78期 中間報告書

(2023年4月1日～2023年9月30日)

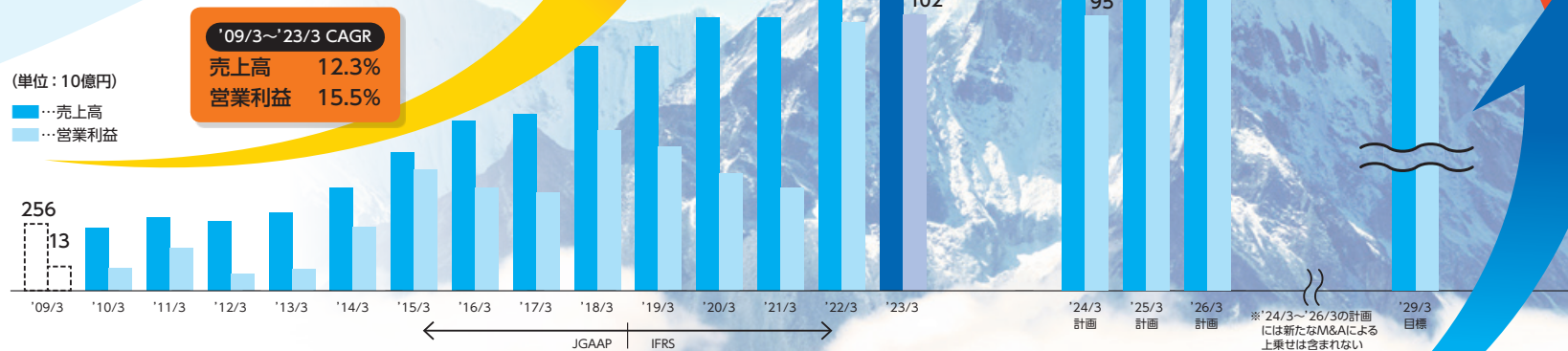
ミネベアミツミ株式会社

証券コード 6479

# 長期経営目標

## 売上高2.5兆円、 営業利益2,500億円は射程圏内

### 10期連続 過去最高売上高更新!



100周年  
会社としての  
サステナビリティ  
×  
地球・社会の  
サステナビリティ

## 成長を加速するドライバー

製品Mix改善により実質的営業利益率は15%台達成へ!

次世代に向けた基盤を強化  
未来の成長へ急加速

飛躍のための発射台を構築

成長ドライバーとしてさらに加速

### オーガニック成長

'09/3~'23/3  
約3,400億円 → '23/3~'29/3  
約8,000億円

成長市場でグローバルニッチトップ 高収益を確保

- ペーシング** 自動車・データセンターを中心にシェア・需要拡大
- アナログ半導体** パワー半導体 (IGBT, SiC)、アナログフロントエンドが成長を牽引
- モーター** コンテックグループによりトップライン・収益性拡大
- アクセス製品** 市場を席巻する新製品積極投入 ex. HVAC LIN

### M&Aによる成長

'09/3~'23/3  
約7,000億円 → '23/3~'29/3  
約3,500億円~  
約6,500億円

- 蓄積されたPMIノウハウ
- グローバルプラットフォーム
- 財務健全性 により、さらにスピーディーな成長が可能

M&A原則  
●既存のコア事業「8本槍」の強化 and/or 相合が期待できるもの  
●適正価格の徹底

優秀な人材の確保  
コア事業「8本槍」の強靱化  
技術シナジーの徹底追求  
**東京クロステックガーデンの活用**

人と知の「相合」を進め、  
事業成長を支える非財務資本をさらに強固に



サステナブルに成長し経営スピードを加速化

**経営体制の強化** **サクセッション**

次世代に向けた  
戦略と執行の分業体制を  
徐々に実施

次世代の執行を担う  
マネジメント人材を育成

## トピックス

当社ウェブサイト (<https://www.minebeamitsumi.com/>) にも一部掲載しております。

### 東京都港区（汐留）に『クロステックミュージアム』オープン ～小学5年生から、ものづくりの技術を体感できるミュージアム～



当社は、2023年9月27日、ものづくりの技術を体感できる施設『クロステックミュージアム』を、東京本部であるミネベアミツミ東京クロステックガーデン（東京都港区）にオープンいたしました。

クロステックミュージアムは、「ミネベアミツミの特性を活かし、世界のものづくりを支える技術」をテーマに、小学5年生以上を主対象とした体感型の企業ショールームです。

普段は目にする機会はあまりないものの、私たちの身の回りの生活の、あらゆる場面で使われている当社製品と、それを支える当社の超精密加工技術、また、製品と密接に関わる自然界の原理（摩擦、電気/電子、磁気、光/電波の性質）を展示の軸としています。

当社の製品は、小学校の理科の授業で習う自然界の原理原則を利用して動いているということや、各製品の仕組みや構造、社会の中で大きな役割を果たしていることを、7つのコーナーを通して、実際の製品や体験展示に触れながら、わかりやすく学び、ものづくりへの興味や関心、気づきをもっていただける展示構成としています。

当社は、2051年に迎える創立100周年の土台づくりの強化のため、相合精密部品メーカーとして成長を続けながら、製品を通じた社会的課題の解決や、優秀な人材の確保と教育など、さまざまな施策に積極的に取り組んでいます。

このクロステックミュージアムは、その一環として、将来の技術者や製造業の担い手をひとりでも多く育てたいという想いで開設しました。

少子高齢化や子どもたちの理系離れ・ものづくり離れが深刻化する今日において、将来を担う子どもたち、特に小学校5年生以上を主対象に、クロステックミュージアムを通じてものづくりへの興味・関心や疑問、おもしろさを感じてもらおうべく、今後は、校外学習等の教育の場としても、広く活用していただく予定です。

#### コーポレートゾーン



ミネベアミツミの経営理念、グローバル展開、デジタル年表などを展示するゾーン

#### 01 X-SHIP (クロスシップ)



臨場感あふれる映像でミネベアミツミの部品や海外工場を探索するクロスシップシアター

#### 02 X-ENERGY (クロスエナジー)



ミネベアミツミのものづくりに関する「自然界の原理原則」を学べる体験型展示ゾーン

#### 03 X-CORES (クロスコアーズ)



ミネベアミツミのコア製品である8本銃製品を展示するゾーン

#### 04 X-WORLD (クロスワールド)



私たちの身の回りで活躍する「ミネベアミツミの部品が組み込まれた製品」を展示するゾーン

#### 05 X-FUTURE (クロスフューチャー)



ミネベアミツミが実現する未来のソリューションを展示するゾーン

#### 06 X-CORRIDOR (クロスコリドー)



ミネベアミツミの8つのコア（主力）事業の起源や歴史を展示するゾーン

#### 07 X TECH LAB (クロステックラボ)

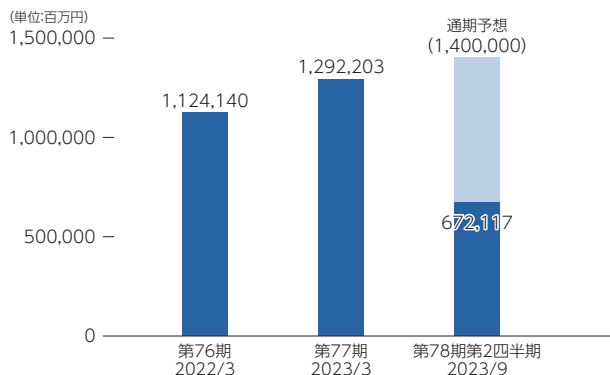


最新のものづくりの現場を見学通路から見ることができ実験室（試作室・評価室）

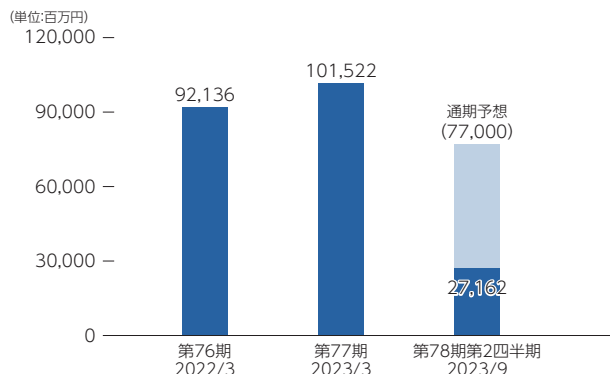


## 財務ハイライト（連結）

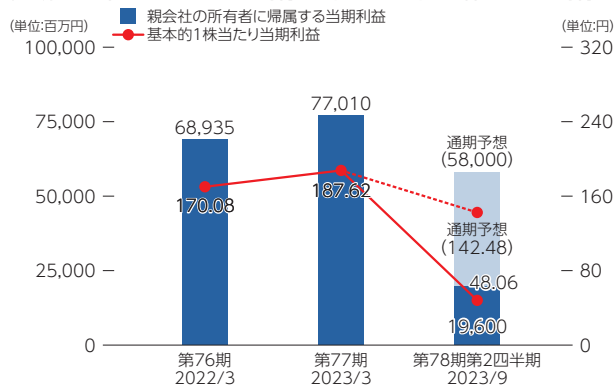
### 売上高の推移



### 営業利益の推移



### 親会社の所有者に帰属する当期利益の推移／基本的1株当たり当期利益



### 通期の見通し

現時点で予想可能な範囲で当第2四半期連結累計期間の業績及び直近の状況を踏まえ、通期連結業績予想を見直し、以下のとおり変更いたします。

(単位：百万円)

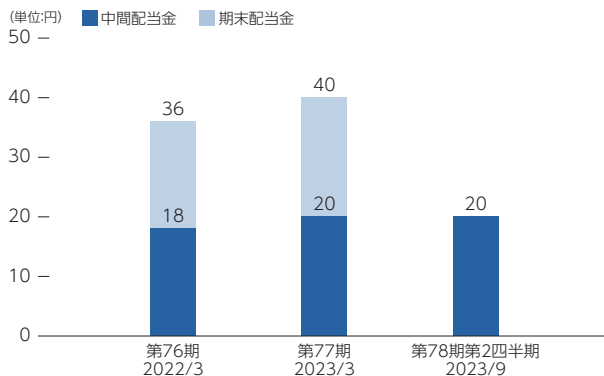
売上高	1,400,000
営業利益	77,000
親会社の所有者に帰属する当期利益	58,000

### 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要事項と認識しております。経営環境を総合的に勘案し、継続的に安定した利益配分を維持しながら、株主資本の効率向上と株主へのより良い利益配分を第一義として、業績をより反映した水準での利益還元をはかることが、利益配分に関する基本方針です。

上記基本方針に基づき、当期の中間配当金に関しましては、1株当たり20円といたします。また期末配当金については未定ですが、当期の業績を勘案した上で連結配当性向20%程度を目処に決定いたします。

### 配当金の推移／配当性向



# 株式情報

(2023年9月30日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式の総数	427,080,606株
株主数	28,990名

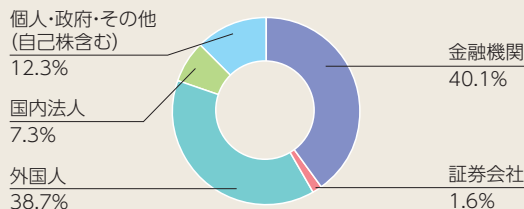
## 大株主の状況 (上位10名)

	持株数 (株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	69,189,700	17.03
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	31,199,298	7.68
公益財団法人高橋産業経済研究財団	15,447,330	3.80
三井住友信託銀行株式会社	15,413,900	3.79
株式会社三井住友銀行	10,223,597	2.52
株式会社三菱UFJ銀行	10,181,739	2.51
株式会社啓愛社	10,100,000	2.49
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04	9,702,782	2.39
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	9,032,470	2.22
BNYM AS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC	7,344,550	1.81

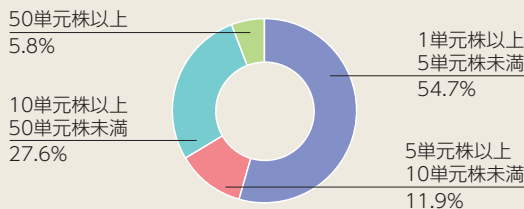
(注) 1.当社は、自己株式20,712,130株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



## 単元株主数別分布状況



# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
配当金支払株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先 (郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (ウェブサイト)	☎ 0120-782-031 (平日 午前9時~午後5時) <a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
(よくあるご質問) (FAQ)	<a href="https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal">https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal</a>

公告方法 電子公告により行います。  
(<https://www.minebeamitsumi.com/>)  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

## 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社等の口座に記録された株式	□座を開設されている証券会社にお問い合わせください。
特別口座に記録された株式	当社の特別口座管理機関である三井住友信託銀行 証券代行部にお問い合わせください。

2023年11月発行



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



この印刷物は、石油系溶剤を使用しない植物油100%のインキを使用し環境にやさしい水なし印刷で印刷しています。



ミネベアミツミ株式会社は、国産木材を積極的に使って日本の森林を育てていくことが大切だと考え、林野庁が推進する「木づかい運動」を応援しています。  
この冊子の制作により、長野県の木材が製紙原料として活用され、国内の森林によるCO2吸収量の拡大に貢献しています。

